



若竹通信

第67号



平成29年7月20日発行
徳島県立新野高等学校

「イシマササユリ保護活動」。伊島中学校と連携したこの活動は、先輩から後輩へと受け継がれ、30年間という長い歴史を刻んできました。私が教員になり立ての頃、当時本校のバイテクを担当されていた岡久護先生が、「伊島のササユリが毎年減少していて、中学校から球根を数個預かって増殖して欲しいと依頼を受けたんだけど」と増殖方法を試行錯誤されていました。ササユリは、本州中部地方以西から四国・九州に分布していますが、変異が多く各地域オリジナルの個体が自生しています。このため、当初から伊島に自生している個体から増殖することを守ってきました。

6月9日(金)の活動には、本校のバイテクを担当している3年次生・伊島中学校と昨秋から参加している阿南工業生徒会、そして今回初めて徳島大学の教員と学生が参加しました。この日は、晴天でササユリも満開を少し過ぎたくらいの絶好の観察日よりで、今まで移植してきたササユリがどれだけ定着しているか容易に確認できました。

かつては島全体が薄らピンクに染まるほど咲いていたそうですが、この活動が少しでも役立てるよう今後も継続してほしいと願ってやみません。(教頭 大田孝延)



イシマササユリ保護活動 I 6月9日

本校のバイオテクノロジーの技術を用い、絶滅危惧種のイシマササユリの球根を培養し、毎年6月と11月の2回、伊島に球根を移植しています。この活動も今年で31年目を迎え、本校の伝統行事となっています。本校では、希少植物の保護に取り組んでおり、自然保護を推進した特色ある学校づくりを行っています。本年度は、阿南工業高校の生徒会と徳島大学、伊島中学校の生徒の皆さんと一緒に球根を約300球移植してきました。



6月16日

花いっぱい運動

今年度2回目の「花いっぱい運動」です。花を植えたプランターを夢ホールに設置しました。



第1回

中学生バイオテクノロジー講座 6月16日

今年度も中学生を対象としたバイオテクノロジー講座を開催しました。近隣の中学校から7名に参加していただき、無菌操作実験など熱心に取り組んでいました。



小型車両系建設機械資格講習

6月20・21日

自分の進路を実現するために、資格取得に励んでいます。本年度は「課題研究Ⅱ」の授業選択者だけでなく、希望者も一緒に資格取得に挑戦しました。授業とは違う講習に、生徒たちは真剣に取り組みました。



保育実習

6月23日

3年次生「子どもの発達と保育」選択者8名が、新野幼稚園・新野保育所へ保育実習に行ってきました。手遊びや紙芝居、じゃんけん列車など子どもたちの遊びを考えて実践してきました。子どもたちと触れ合い、楽しいこと苦労したことなど様々ありましたが、大変貴重な体験をすることができました。

